



往還風景

流しそうめん

ディ・サービス

流しそうめん器に、そうめん、トマトやぶどうを入れて、はしですくっていただきました。

くるくるまわる器の中の物をすくうのは、むずかしそうですが皆さん、楽しそうに上手にすくって召しあがっていただきました。



9月のクラブ活動

1日 (木) 書道クラブ

29日 (木) お花クラブ

9月の行事

14 (水) 音楽療法
3階、ショート、ディサービス対象

21 (水) 音楽療法
2階、ショート、ディサービス対象

きり絵制作

ディ・サービス

黒画用紙2枚にお花の形の切れ込みを入れ、間に、ペットボトルのビニールラベルを貼りつけたらスタンドグラス風切り絵の完成です。

ただ今、
製作中です。

作品の勢ぞろい



あさひっ子クラブ

オイスカ

あさひっ子クラブとオイスカ(積み木)の方がみえてショートとディサービスの利用者様と一緒に積み木遊びをしました。最後にこどもたちが“マルモリ体操”と“会いたかった”を踊って楽しいひとときをすごしていただきました。





世界的に評価された日本の医療

イギリスの世界的医学雑誌「ランセット」は9月1日、日本の保健医療の現状をまとめた日本特集号をだしました。副題は「Japan: Universal Health Care at 50 Years (日本: 国民皆保険達成から50年)」ということで、日本が戦後、短期間で長寿社会を実現した要因を探るとともに、国民皆保険制度の限界や、現行の保険医療システムの問題点を指摘しています。

「いつでも、どこでも、だれでも(または誰でも)(良い医療を受けられること)は、国民皆保険制度の基本理念・標榜として広く用いられていますが、昨今の景気や医療に対する患者側の要求が高くなり理念が崩れかけています。

「いつでも、どこでも、だれでもが、治療費などに心配せず、安心して最善の医療が受けられる」社会にすることが理想ですが、限りある人生、限りある資源、生活環境に違いがあるた不平が起こってくるのは致し方ないことです。

生きていることを感じて生活しているならば長寿はずばらしいことです。でも生かされていると感じたらどうなのでしょう。

こめだ腎・泌尿器科 米田 勝紀

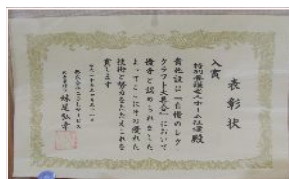
入賞作品の紹介

月刊ディ掲載

当施設で製作した作品が入賞しました。
「花火」「あじさい」「おみこし」などそれぞれにあじわい深い作品となりました。

新聞紙を切るのではなく、“ちぎる”という手法が作品に独特の味を出しているとの評価をいただきました。

花火・あじさい
おみこし作品



お花クラブ

少しづつ、秋を感じる花々が入っています。



花材

ひまわり
オオニソガラム
ワレモコウ
ユーバトリウム
ニューサイラン

今日から始める、簡単お口のケア ワンポイント アドバイス



笑いの効果

「笑い」はコミュニケーションから生まれますが、その場を和ませるだけでなく、心身ともにさまざまな効果があることが知られています。

・笑うと免疫力がアップする

笑うことで脳が刺激されて、免疫機能ホルモンが分泌されます。がん細胞を死滅させるリンパ球の一種、NK細胞(ナチュラルキラー細胞)が増加したり、働きが活発化して免疫力が高まると報告されています。

・痛みが和らぐ

脳への刺激によって、鎮静作用と快感作用があるβエンドルフィンが分泌され、痛みや炎症を和らげる効果があるとも言われています。

・自立神経を整える

大きく笑えば横隔膜が上下し、腹式呼吸になりますが、腹式呼吸には、副交感神経の働きを助けて、自立神経を整える役割もあります。

・腹筋のトレーニング

お腹の底から笑えれば腹筋も大きく動くので、腹筋のトレーニングにもなります。表情筋を鍛えてステキな笑顔を作れるようにお口の体操をしましょう。

歯科衛生士 水谷 敦子